

第1 児童生徒の食生活等に関する実態

1 静岡県朝食摂取状況調査

静岡県では、平成13年度より「子どもの食習慣改善事業」として、学校・家庭・地域が連携しつつ、子どもが望ましい食習慣などを身に付けることができるよう、子どもの朝食摂取状況に着目し、「朝食摂取実態調査」や「朝食クイックメニューコンクール」の開催等様々な事業を実施してきました。

事業展開に伴い、静岡県の児童生徒が朝食摂取に関して、以下のような状況であることが明らかになってきました。

「静岡県朝食摂取状況調査」に見る児童生徒の実態

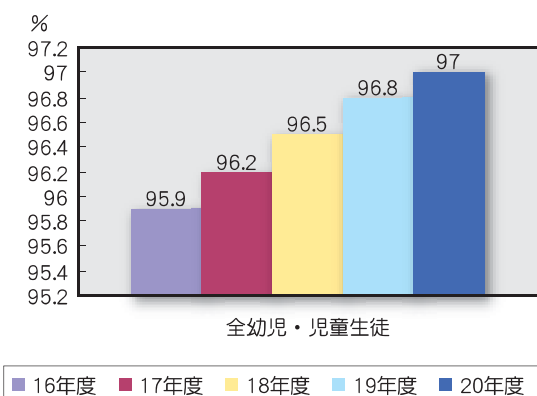
(1) 朝食をとっている子どもの割合

静岡県朝食摂取状況調査による「学校のある日1日に朝食をとった子どもの割合」(資料1)は、平成20年度現在で、97.0%(全幼児・児童生徒対象)となっています。

また、平成20年度全国学力・学習状況調査(資料2)によると「朝食を毎日食べていますか」の問いに、静岡県では、小学校で96.5%、中学校では93.9%の児童生徒が「食べている」「どちらかといえば食べている」と答えています。

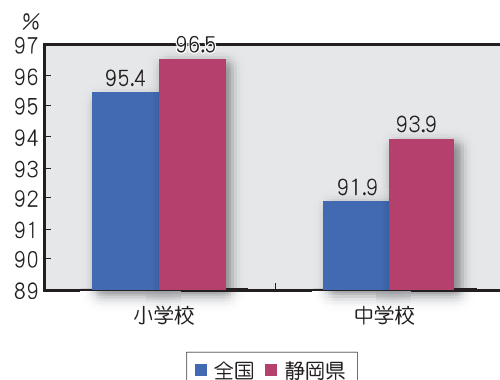
これらのことから、静岡県の子どもたちの朝食摂取に関する状況は、概ね良好と言えますが、中学校入学後に摂取率が低下する傾向が見られることから、今後もより早い段階で食習慣改善の取組を行っていくことが望まれます。

「朝食をとっている子どもの割合」



資料1 「静岡県教育委員会朝食調査」(平成15～20年度)

「朝食を毎日食べていますか」



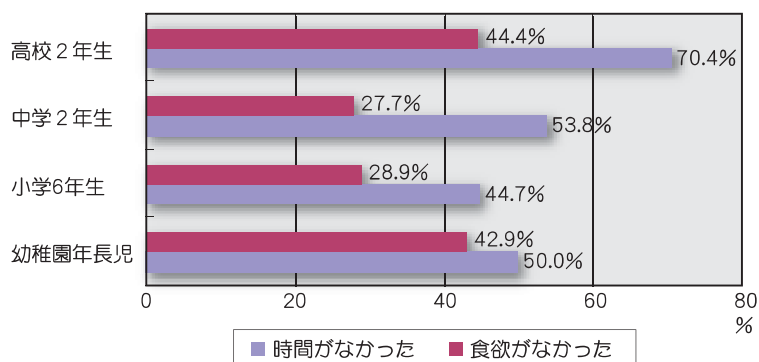
資料2 「全国学力・学習状況調査」(平成20年度)

(2) 朝食を食べない理由

朝食欠食の理由（資料3）としては、「食べる時間がない」が大半を占め、次いで「食欲がない」となっています。

この傾向は学年があがるにつれて顕著になることから、「就寝・起床時刻」「運動時間」などを含めた生活習慣全体や受験期の生活習慣等の見直しや改善を児童生徒自身が行うとともに、家庭と連携を図りながら、各学校で、食に関する指導を計画的・継続的に実践する必要があります。

朝食を食べない理由



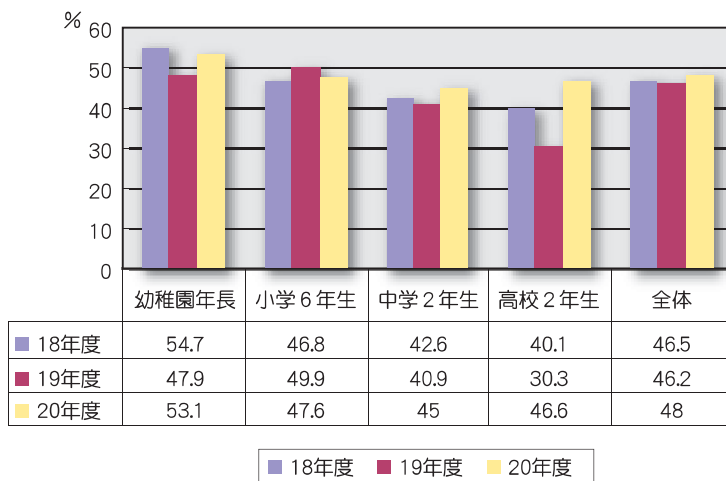
資料3 「静岡県教育委員会朝食調査」(平成20年度)

(3) 栄養バランスのとれた朝食をとっている子ども

「朝ごはんは赤・黄・緑の3色の食品を食べた子ども」の割合（資料4）は、平成20年度において48.0%であり、調査開始以来、最高の割合となりましたが、依然として半数に満たない状況が続いています。

今後も、栄養バランスの整った学校給食をモデルとして、学校と家庭が連携しつつ、食事内容の充実に向けての取組を行うことが必要です。

「朝ごはんは赤・黄・緑の3色の食品を食べた子ども」



資料4 「静岡県教育委員会朝食調査」(平成18～20年度)